

# 進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	7 学生の支援体制
中項目	
小項目	7.0.1 学習支援
要素	①学生が在学期間に会計大学院の課程の履修に専念できるよう、また、教育課程上の成果を上げるために、各会計大学院の目的に照らして、履修指導の体制が十分にとられていること。 ②各会計大学院の目的及び教育課程上の成果を実現する上で、教員と学生とのコミュニケーションを十分に図ることができるよう、学習相談、助言体制の整備がなされていること。 ③各種の教育補助者による学習支援体制の整備に努めていること。
小項目	7.0.2 生活支援等
要素	学生が在学期間に会計大学院の課程の履修に専念できるよう、学生の経済的支援及び修学や学生生活に関する相談・助言、支援体制の整備に努めていること。
小項目	7.0.3 身体に障がいのある学生に対する支援
要素	身体に障がいがある者に対しても、受験の機会を確保するとともに、身体に障がいのある学生について、施設及び設備の充実を含めて、学習や生活上の支援体制の整備に努めていること。
小項目	7.0.4 職業支援(キャリア支援)
要素	学生支援の一環として、学生がその能力及び適性、志望に応じて、主体的に進路を選択できるように、必要な情報の収集・管理・提供、ガイダンス、指導、助言に努めていること。

## II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. キャリア支援の機関を設置する。	→キャリア支援の機関・しくみの構築状況および活動状況。キャリア支援のために提携しているキャリアプランへのエントリー数、面談参加者数。	C	C			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし					
なし	→なし					

### 《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目 7.0.1	7.0.1 学習支援 (説明) 履修指導については、教務学生正・副委員の教員が入学時に全入学者を対象にして実施している。また、教員と学生とのコミュニケーションを十分に図ることができるよう、オフィスアワーの時間を設けると同時に、担当教員制度を設けている。各種の教育補助者による学習支援体制の整備については今後の課題と言える。
小項目 7.0.2	7.0.2 生活支援等 (説明) 学生の経済的支援及び修学や学生生活に関する相談・助言、支援体制については、入学説明会、入学時に説明するとともに、随時、事務局で相談・指導に努めている。特に経済的支援については、支給、貸与それぞれの奨学金を用意している。
★ 小項目 7.0.3	7.0.3 身体に障がいのある学生に対する支援 (説明) 身体に障がいがある者に対して、受験の機会を確保するとともに、全学での取り組みのもと、施設及び設備の充実と共に学習や生活上の支援体制の整備に努めている。例えば、ノートテイク制度なども整備されている。
小項目 7.0.4	7.0.4 職業支援(キャリア支援) (説明) 学生がその能力及び適性、志望に応じて、主体的に進路を選択できるように、必要な情報の収集・管理・提供、ガイダンス、指導、助言を行っている。開設時より設定していた外部の就職支援会社との連携が先方の都合により解消したことを機会に、学内組織であるキャリアセンターとの連携強化を図り、7月に情報交換会などを実施した。また、新日本監査法人にも例年、在学生・修了生を対象に業界説明会を開催してもらっている。
その他	

《評価指標データ》

☆

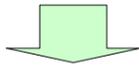
☆

☆

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
小項目 7.0.2	
☆ 小項目 7.0.3	
小項目 7.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

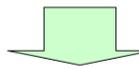
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
小項目 7.0.2	
☆ 小項目 7.0.3	
小項目 7.0.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
小項目 7.0.2	
☆ 小項目 7.0.3	
小項目 7.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
小項目 7.0.2	
☆ 小項目 7.0.3	
小項目 7.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
--------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### <評価専門委員会の評価>

- 今後の学生確保の観点からも、キャリア支援の充実が重要課題となるでしょう。目標では「キャリア支援の機関を設置する」とありますが、現状では外部の就職支援会社との関係が切れ、大学のキャリアセンターとの連携強化が謳われています。それで十分なのでしょうか。今後の方向性や見通しはいかがでしょうか。
- 学生支援に対する様々な制度を実施しています。その各々の制度の実施率などはどのようなものなのでしょうか。
- 簡潔で適切な説明です。
- 教育補助者による学習支援体制は改善すべき事項には入らないのでしょうか。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ ○就職希望者についてはキャリアセンターとの連携を強めている。また、修了者の主たる進路である公認会計士試験受験生については、研修員制度を設け、対応している。(各種施設利用の便宜、聴講生制度)